

能代市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	188,484,311	63,216,788	251,701,099	89%	令和7年度以降の森林経営管理 事業及び森林整備等に活用
譲与額（円）	209,315,000	73,342,000	282,657,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理事業	26,895,901	26,879,588	種・梅内地区で森林境界調査258ha、久喜沢地区で 意向調査3ha、常盤地区で集約化モデル事業26haを 実施。
	森林・林業活性化総合支 援事業（森林整備支援）	53,351,000	28,661,000	森林経営計画を作成している森林等で実施する植栽 32ha及び間伐83haに対して助成。
人材育成	森林・林業活性化総合支 援事業（担い手支援）	2,250,000	2,250,000	6名の担い手を雇用育成する2事業体を支援。
	森林・林業活性化総合支 援事業（経営管理支援）	5,426,200	5,426,200	森林所有者に代わり2,713haの森林管理の受け皿と なる1事業体を支援。
基金積立		10,125,212	10,125,212	能代市森林環境譲与税基金
合計		98,048,313	73,342,000	

■今後の実施計画

①能代市独自の森林経営管理事業「能代システム」の実施



- ・市内の杉人工林（約1万ha）を対象に市内全域を14地区に分割。
- ・1地区3年程度を目安に実施。
- ・予定額：約30～50百万円／年

②再造林等の森林整備と林業の担い手確保を推進

森林資源の循環利用と木材生産の効率化を促進するとともに、担い手となる従事者確保等につながる取組を推進する。

